

# 悪魔の往復プロンプト

## 認知ハッキング・プレイブック

～言い訳のあぶり出しと情報の反転再構築～



「人間の泥臭い本音を暴き、マーケティングの力で反転させる。  
あなたは今日、単なるプロンプトの利用者から、深層心理を  
操る天才心理学者兼・超一流の戦略家へと覚醒する。」

# ターゲットの脳内構造：表面的な理由はフェイクである

## 表面的な理由はフェイクである

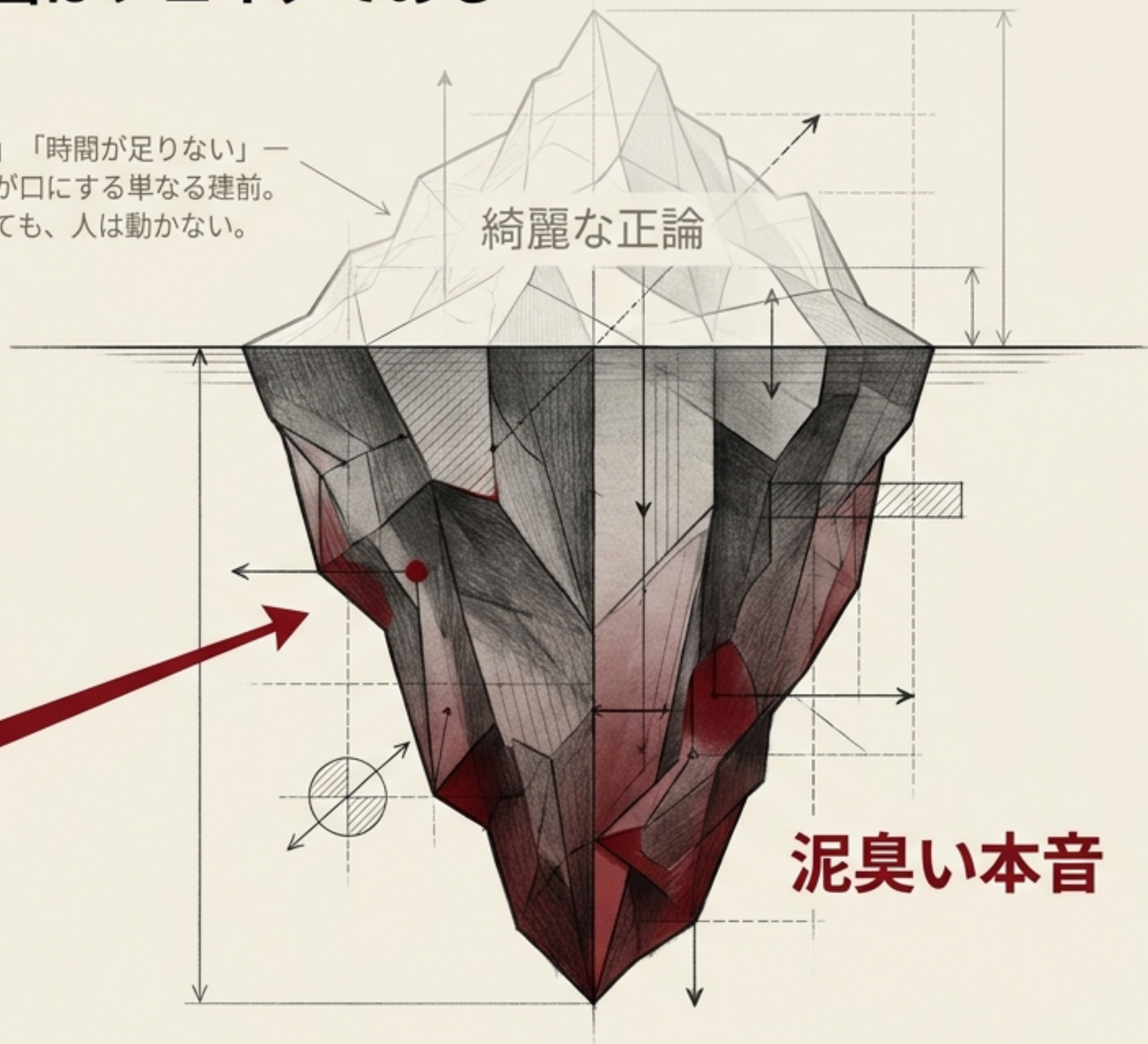
このフレームワークの目的は、深層の防衛本能を容赦なく暴き出し、鮮やかにひっくり返すこと。

「価格が高い」「時間が足りない」—  
これらは顧客が口にする単なる建前。  
ここを解決しても、人は動かない。

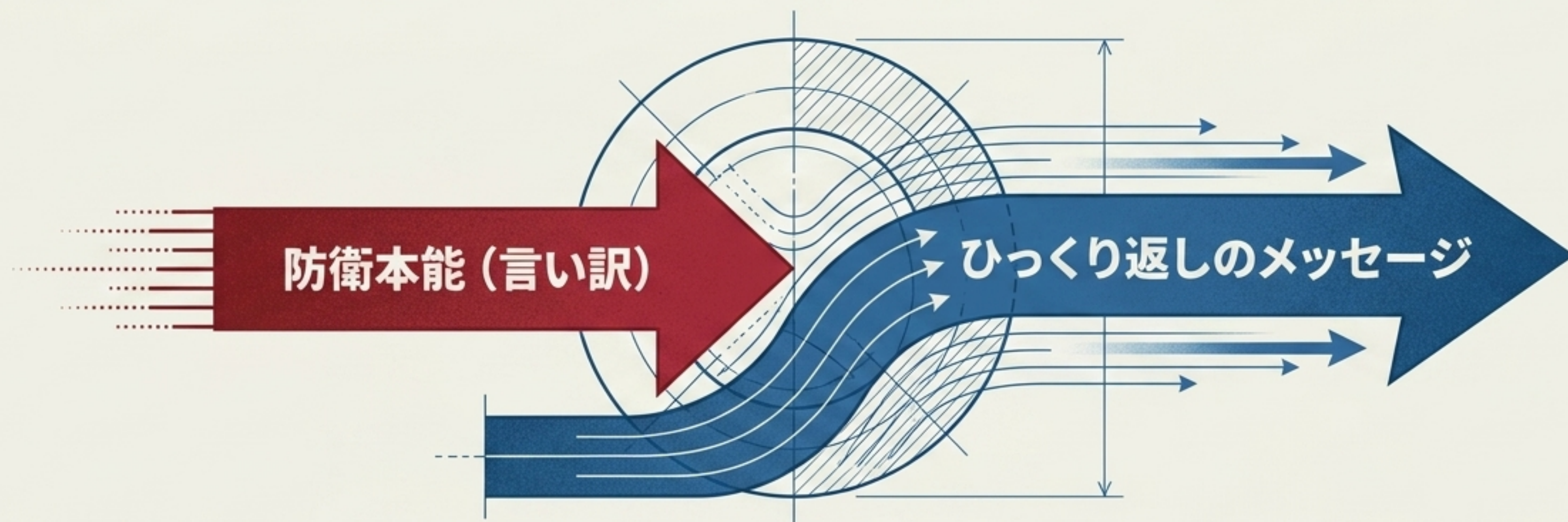
綺麗な正論

「最もワガママで、最も臆病で、不条理な本音」。  
この深層心理に巣食う防衛本能（ブレーキ）こそが真のターゲットである。

泥臭い本音



## コア・メカニズム：ブレーキを推進力（アクセル）へ変換する



### Step 1: 予測と破壊

相手が全力で並べ立てる醜くもリアルな『買わない言い訳（ブレーキ）』を先回りして言語化し、逃げ道を塞ぐ。

### Step 2: 反転と加速

塞いだエネルギーを利用し、カウンターメッセージで一気に『購買意欲（アクセル）』へとひっくり返す。

# システムの脆弱性：「4つの心のバグ」



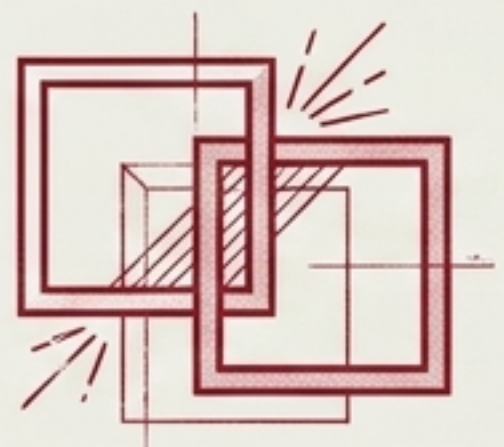
【現状維持の執着】



【失敗への恐怖】



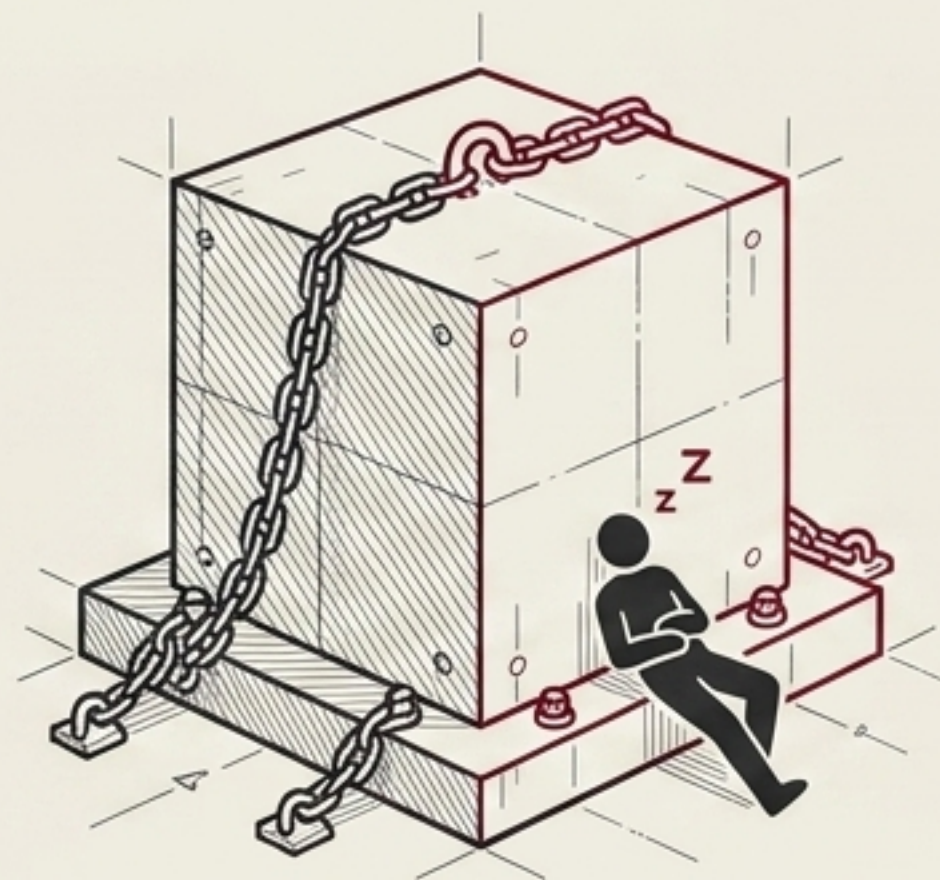
【認知の歪み】



【純粋なワガママ】

**WARNING:** 綺麗な正論での対処はシステムエラーを引き起こす。泥臭い生々しい防衛本能にのみフォーカスせよ。

## バグの深掘り I : 怠惰と保身



### 【現状維持の執着】

真実: 「変わるのが面倒くさい。今のままで死ぬわけじゃない」という圧倒的な怠惰。

心理状態: 新しいものを導入するカロリー消費を脳が極端に嫌っている状態。

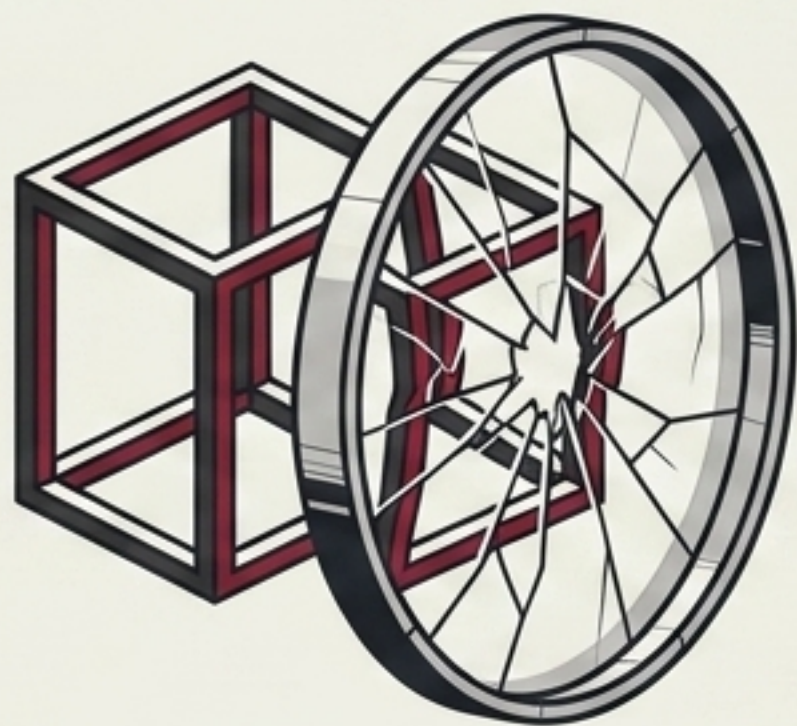


### 【失敗への恐怖】

真実: 「もしこれを選んで失敗した時、周囲（上司や家族）にどう言い訳するか」という強烈な保身。

心理状態: 成功の喜びよりも、責任を問われるリスクに完全に支配されている状態。

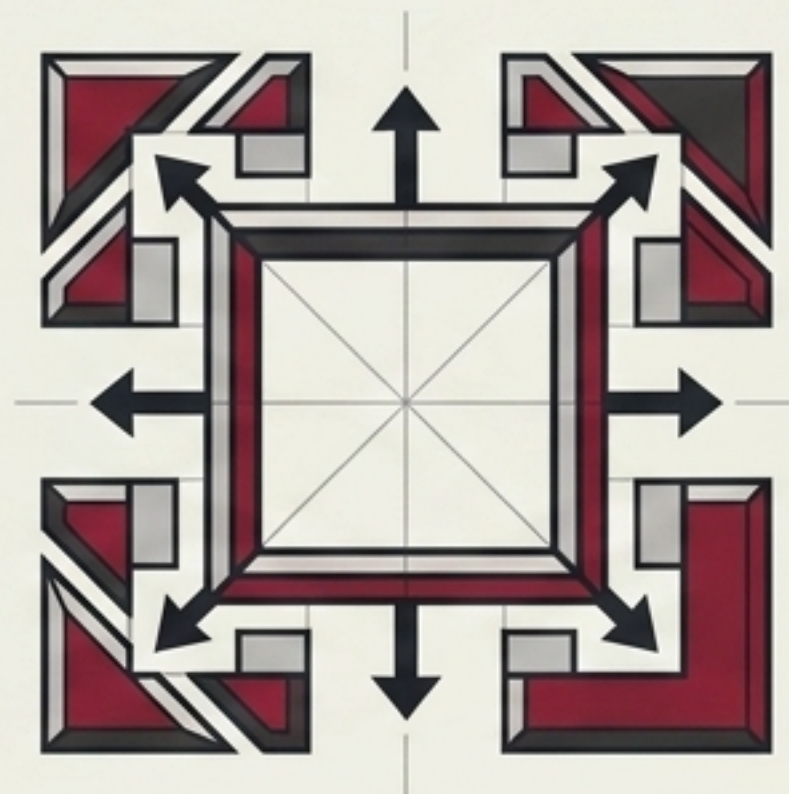
## バグの深掘りII：猜疑心と感情的反発



### 【認知の歪み】

真実: 素晴らしい提案であるほど、逆に「絶対に何か裏があるはずだ」と疑いたくなる猜疑心。

心理状態: 完璧すぎるメリットに対し、脳が勝手にアラートを鳴らす状態。



### 【純粋なワガママ】

真実: 「言っている理屈は100%正しいが、なんとなく生理的に癢に障る、認めたくない」という感情。

心理状態: 論理的敗北を悟った上で、最後の意地を張っている状態。

## ハッキング手法：4つのカウンター思考法（エクスプロイト）

単なる言葉のリバーズ（「難しくありません、簡単です」等）は厳禁。相手の認知の隙間を突き、ぐうの音も出ない形で説得するための4つの「型」。



1. 【アイデンティティの格上げ】



2. 【リスクの非対称性の提示】

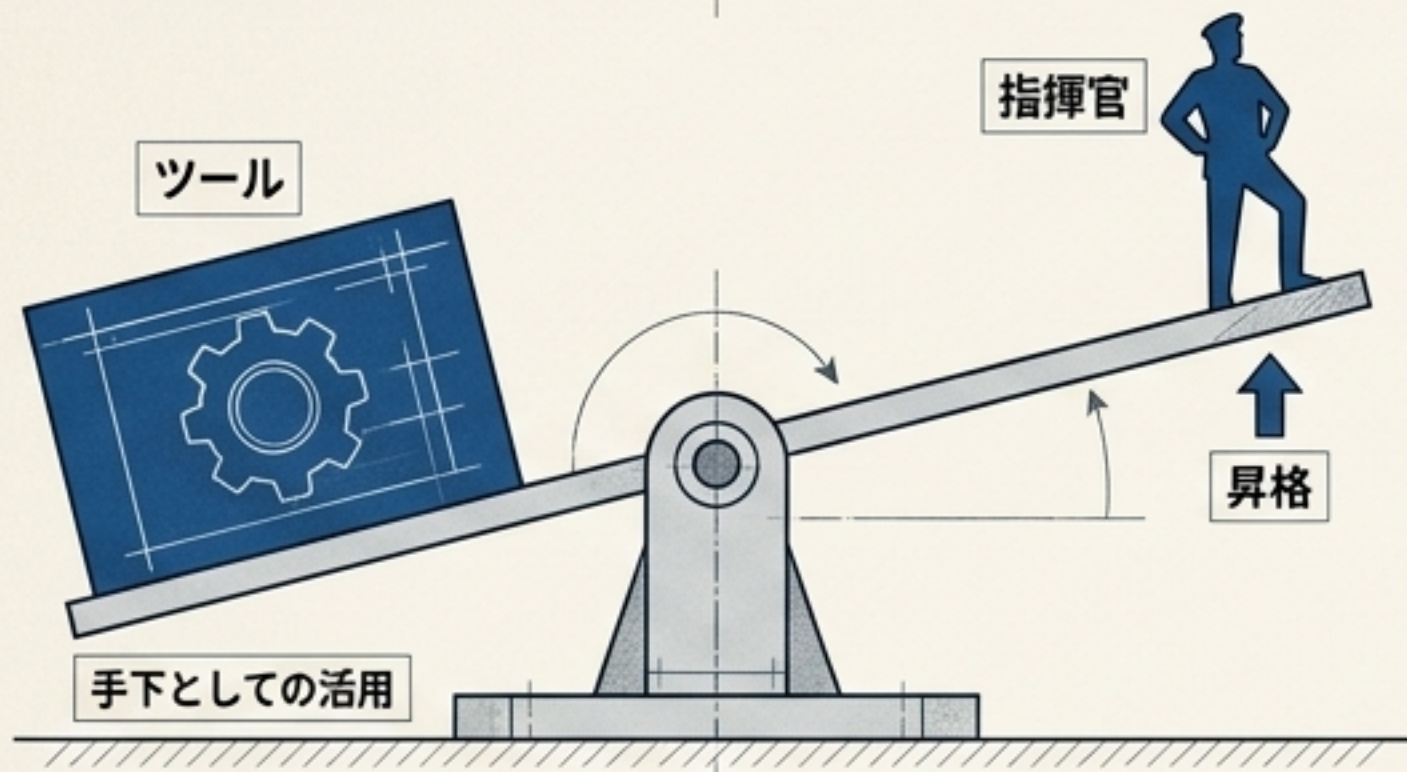


3. 【不都合な真実の自己開示】



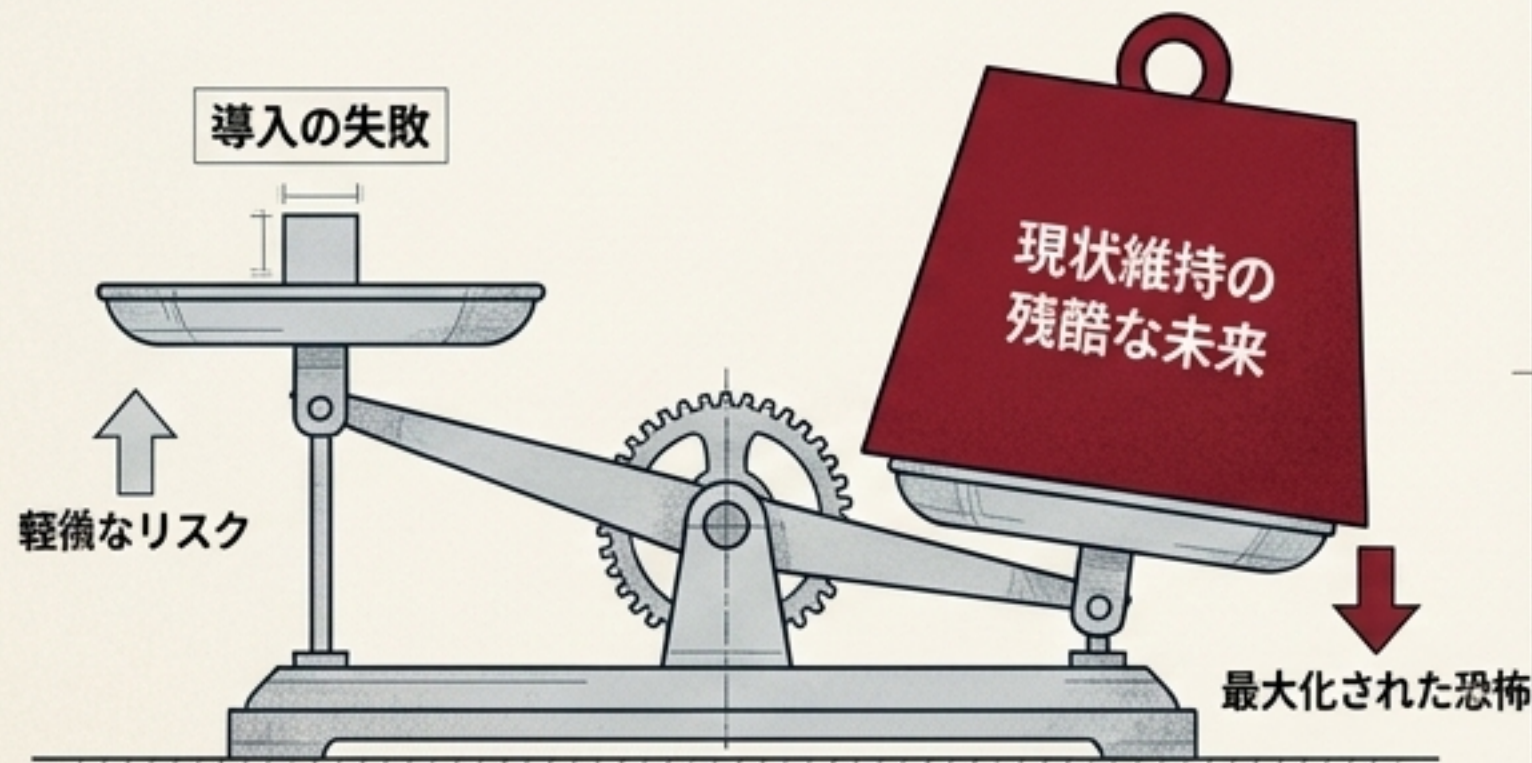
4. 【同調圧力からの離脱（秘密結社化）】

# カウンター戦術 I：視点の引き上げと恐怖の反転



## 1. 【アイデンティティの格上げ】

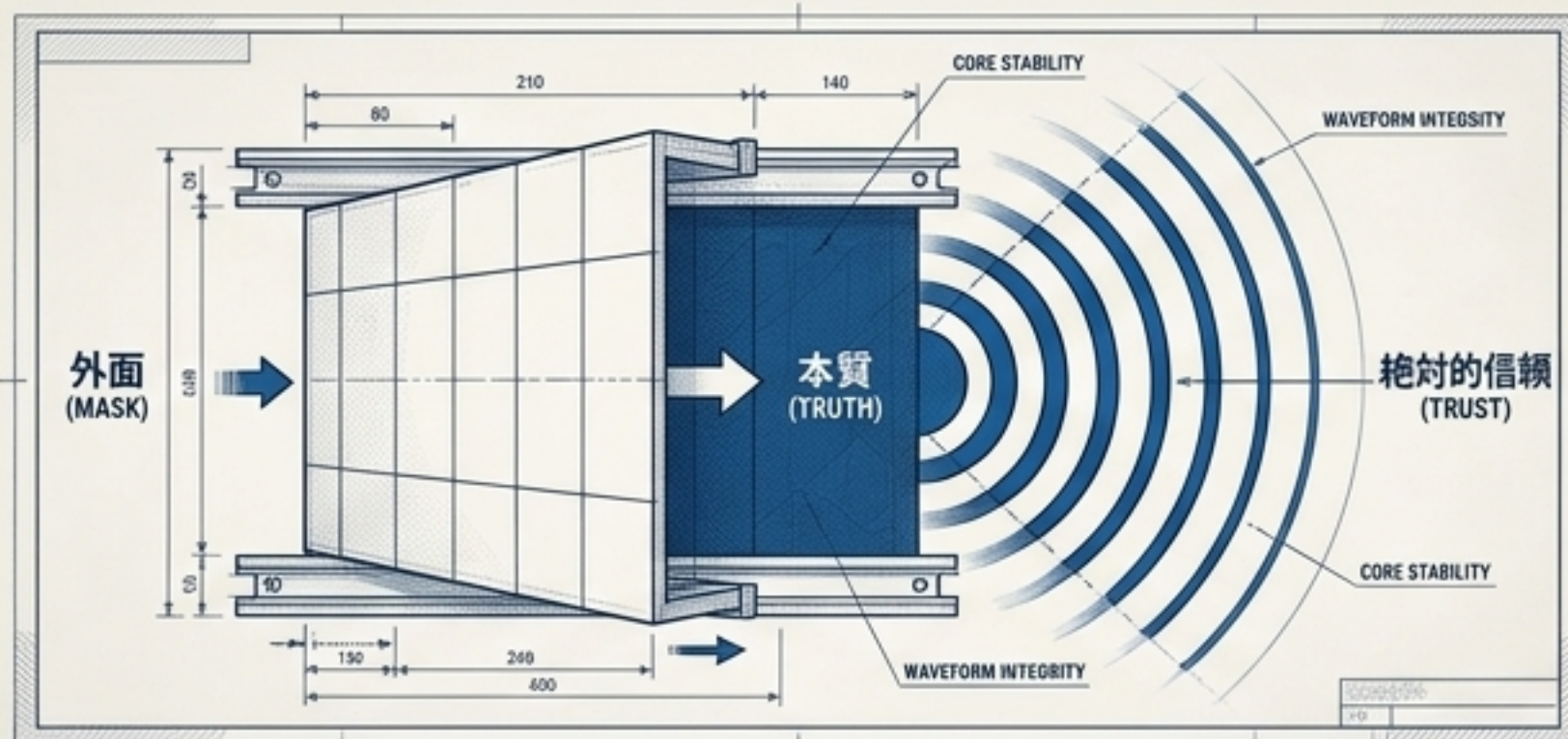
- メカニズム: ツールやサービスを「競合」ではなく「手下」として再定義する。
- 効果: 相手を単なる「作業者」から、ツールを操る「指揮官」のステージへ引き上げ、プライドを満たす。



## 2. 【リスクの非対称性の提示】

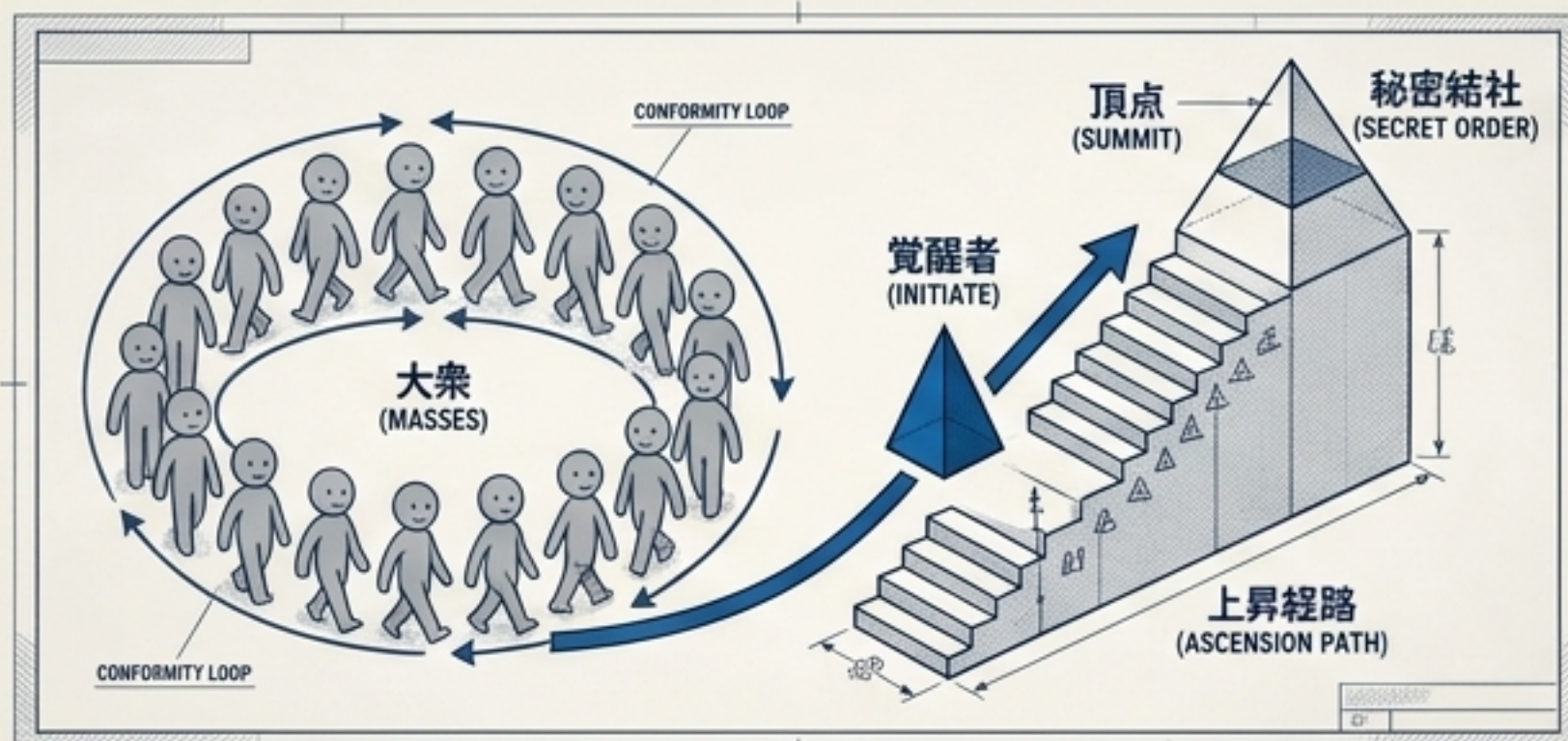
- メカニズム: 導入失敗のリスクを小さく見せるのではなく、「導入せずに現状維持を続けた結果被る残酷な未来」の恐怖を最大化する。
- 効果: 比較対象をずらし、現状維持を最も致命的な選択肢として突きつける。

# カウンター戦術 II：絶対的信頼と選民意識



## 3. 【不都合な真実の自己開示】

- メカニズム: 売り手側から先に欠点やデメリット（裏）を明かす。
- 効果: 「認知の歪み（裏があるはずだ）」を先回りして満たし、逆に絶対的な信頼を獲得する。

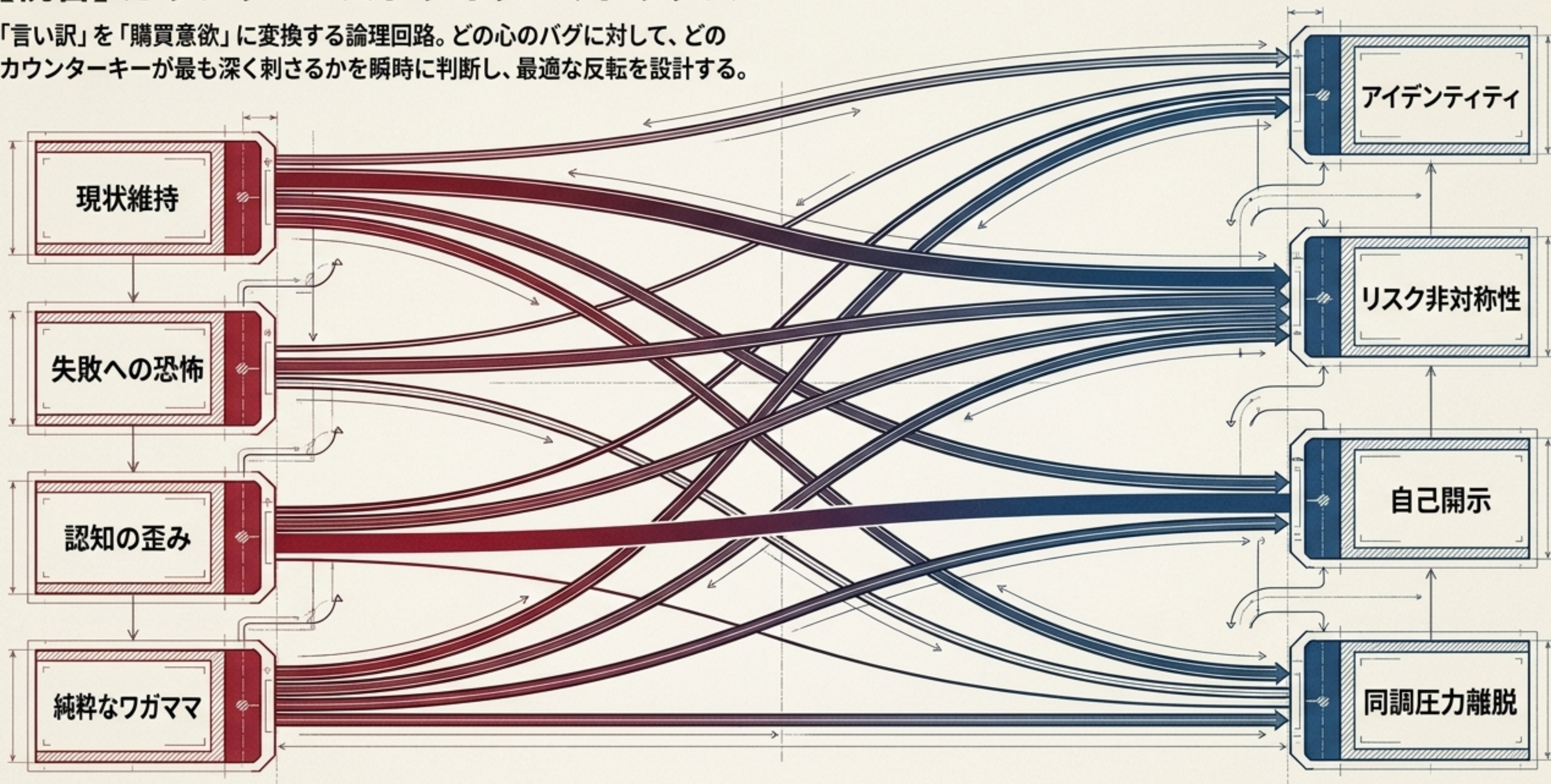


## 4. 【同調圧力からの離脱（秘密結社化）】

- メカニズム: 世間の表面的なブームを共に突き放し、「本質に気づける一握りのあなたへ」と語りかける。
- 効果: 生理的な反発を無効化し、特別なコミュニティへの招待という優越感で誘い込む。

# 【統合】カウンター・ストライク・マトリクス

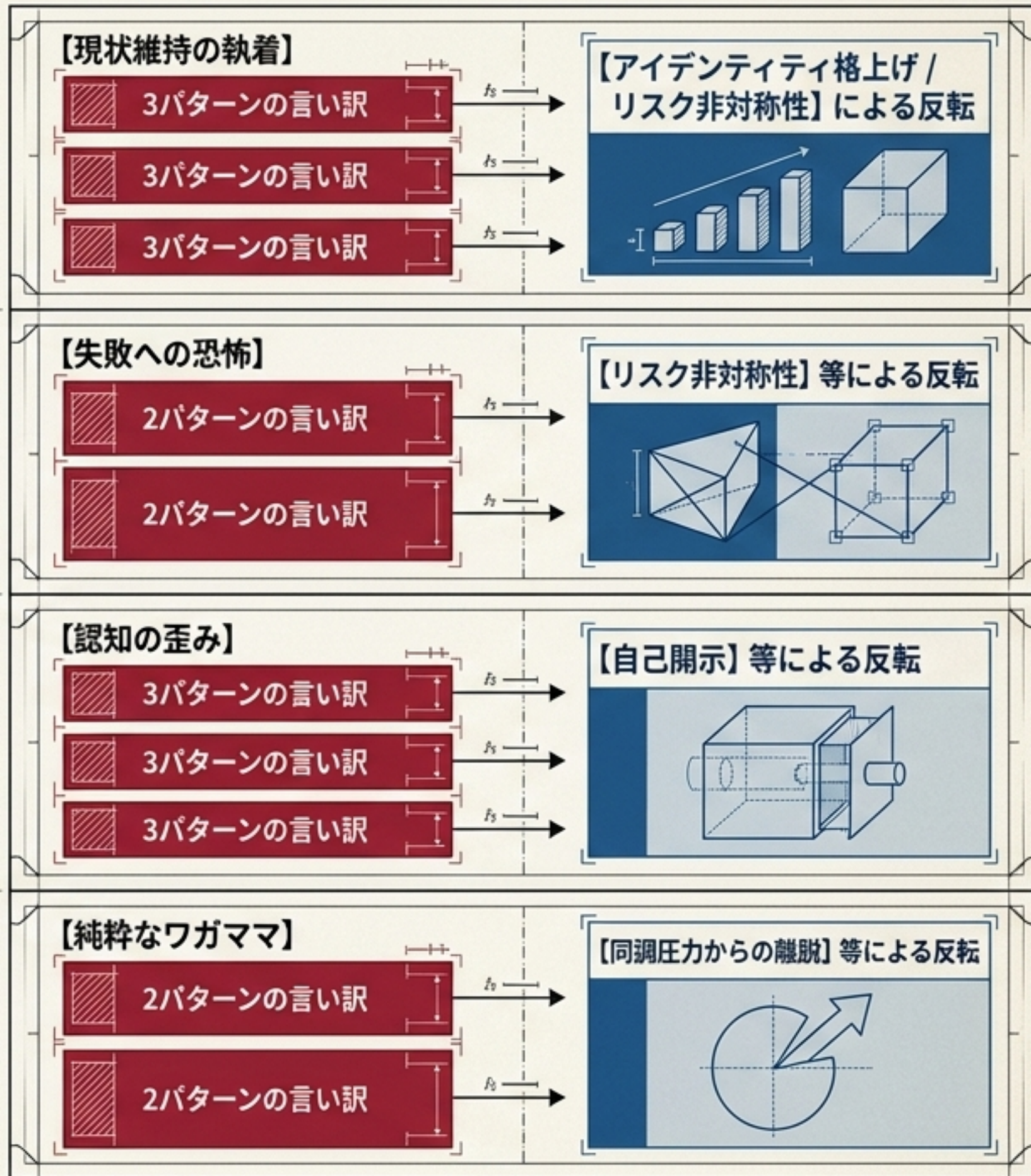
「言い訳」を「購買意欲」に変換する論理回路。どの心のバグに対して、どのカウンターキーが最も深く刺さるかを瞬時に判断し、最適な反転を設計する。



# 実行アーキテクチャ：10の設計図

プロンプトが自動生成する「言い訳と反転」の10の対構造。

**Rule:** 挨拶や余計な解説を排除し、生々しい独白と切れ味鋭いカウンターのみを連続出力する。



## システム起動 (System Initialization: The First Rule)

最初の挙動ルール：このプロンプトを入力後、AIはすぐに出力を開始しない。  
以下のメッセージのみを出力し、ターゲット（お題）を静かに待つ。

> 「あなたが今、情報の再構築を必要としている商品・サービス、  
あるいは仕掛けようとしているプロジェクトの概要を教えてください。  
人間の防衛本能をハッキングする準備をしてお待ちしています。」  
> █